

利用状況

令和6年度（R6. 4. 1～R7. 3. 31）

【貸出基準】

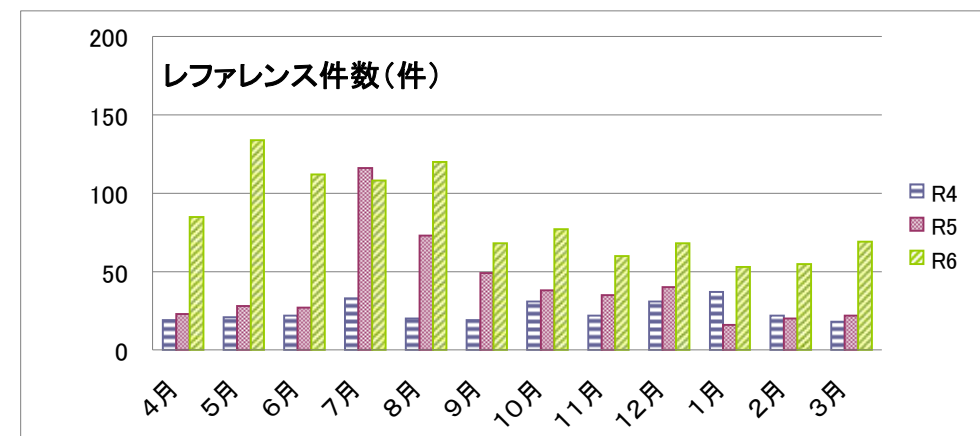
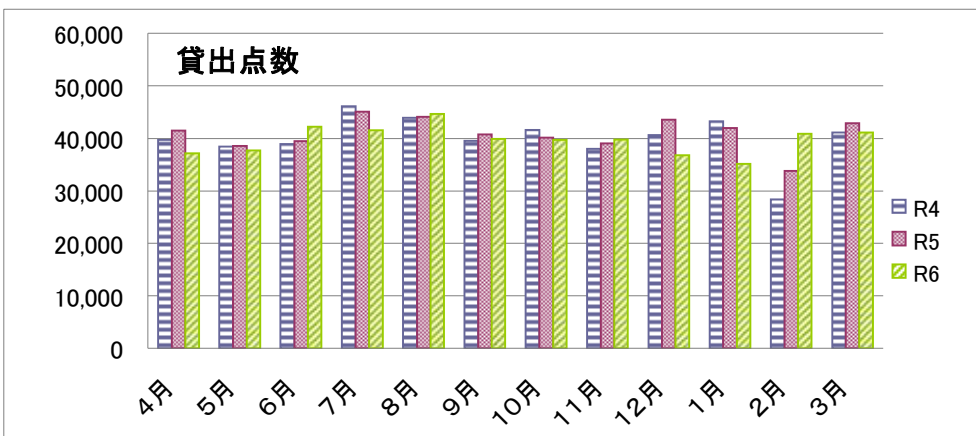
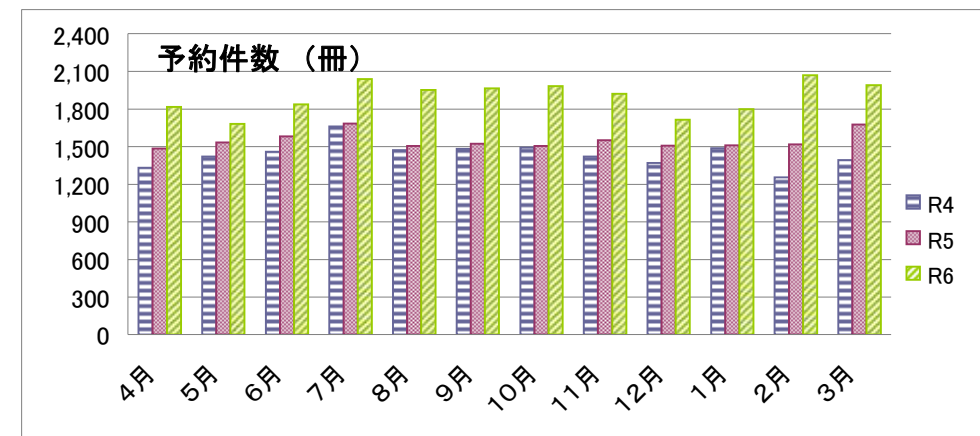
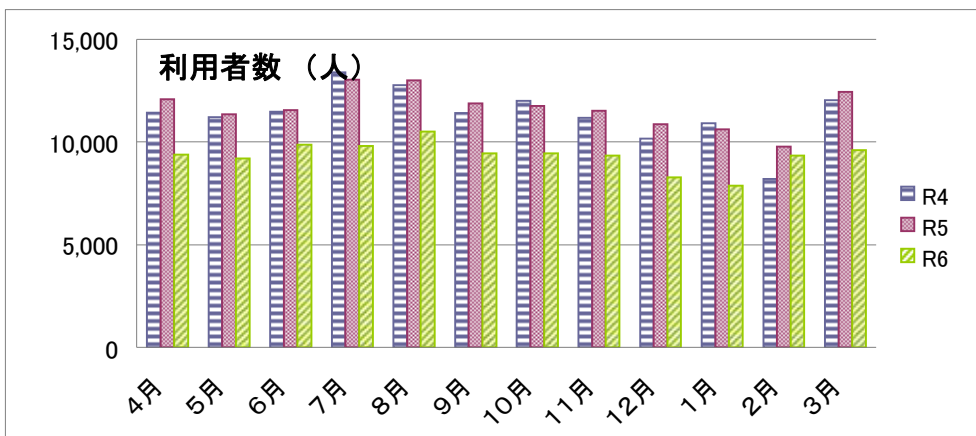
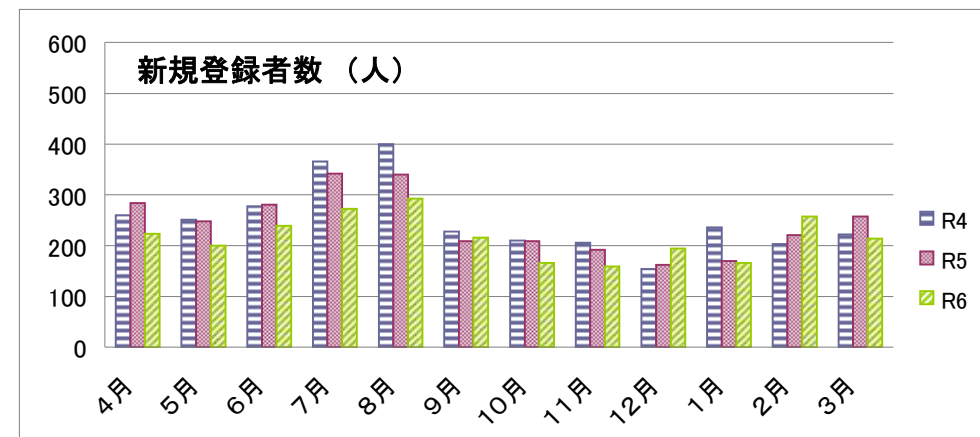
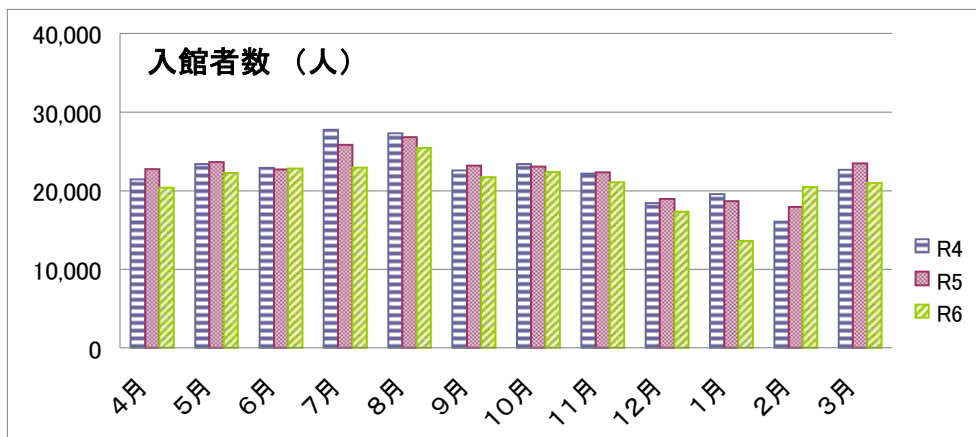
対象：市内在住、在学、在勤、在園者及び名古屋市名東区、名古屋市守山区、瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市在住者

点数：図書・雑誌・紙芝居 あわせて10点まで3週間 視聴覚資料2点まで3週間

【説明】

- ・令和6年度から貸出点数を5点から10点に増やし、貸出期間を2週間から3週間に延ばしている。来館し貸出をする頻度が減少したため、入館者数、利用者数や貸出冊数が令和5年度と比べ減少している。
- ・令和6年度から予約点数を在住・在勤・在学・在園の方は3点から6点に増やしたことにより、令和5年度と比べ23%増加している。
- ・レファレンスは窓口委託業者がレファレンスカウンター席に常駐し受け付けることができているため、件数が2倍に増加した。

														R6年度	R5年度		増減率
														一日平均	3月末合計	一日平均	



第3次長久手市子ども読書活動推進計画 令和6年度進捗状況・令和7年度目標値一覧

資料 2

基本目標		重点施策		取組	新規取組	内容	指標	令和6年度 目標値	令和6年度 実績	達成率	令和7年度 目標値
1 家庭・地域・学校などにおける取組の充実	1	家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1	乳幼児期からの読書活動の支援		乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートバック配付人数(年間)	出生数の90%	500人	102%	出生数の90%
			2	家庭読書の支援、家読事業の啓発・推進	○	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。			・年齢別絵本リストの配布やHPへ掲載 ・本のおたのしみ袋 ・ぬいぐるみお泊まり会実施		
			3	地域の読書活動の支援		ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。			読み聞かせボランティア11団体への貸出数:691冊		
	2	中央図書館における子どもの読書活動の推進	1	良質な図書の収集		専門的視点で司書が選定する良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	146,000冊	131,808冊	90%	135,000冊
			2	声かけレファレンス		本をさがしている子ども(保護者含む)へのレファレンスサービスを継続します。			レファレンス件数(総数):1,009件		
			3	中央図書館がより身近な存在となる事業の企画		子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。			子ども向けテーマ展示を10回		
			4	図書ボランティアとの協働		読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、中央図書館と連携します。			・図書修理ボランティアステップアップ講座(全2回)に15人参加 ・ブックスタート事業読み聞かせボランティア養成講座に12人参加		
			5	児童書の魅力を保護者へ伝えるための企画を実施		定期的におはなし会を開催し、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。			子ども向けおはなし会を97回実施		
	3	児童館などにおける子どもの読書活動の推進と環境整備	1	中央図書館から児童館などへの図書貸出		中央図書館と児童館などが協働して団体貸出をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。また、本の選定に中央図書館の司書が協力します。	団体貸出(児童館など)	14か所継続	全14か所	100%	全15か所継続
			2	児童館利用者への本の紹介		児童館などに来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。			年齢別絵本リストの配布やHPへの掲載		
	4	保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進と環境整備	1	中央図書館から保育園・幼稚園への図書貸出		中央図書館からの団体貸出によって園での読みきかせに適した絵本を増やします。	団体貸出(保育園・幼稚園)	6園	6園	100%	6園
			2	保護者などに読書活動の大切さを周知		家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。			年齢別絵本リストの配布やHPへの掲載		
	5	学校における子どもの読書活動の推進と連携体制の強化・充実	1	学校連携司書による読書案内		学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介します。			市内小中学校に5人の司書が週4日で訪問		
			2	授業等での本の活用		学校連携司書と教職員が連携し、総合的な学習の時間や調べ学習、探究学習など、子どもの自主的、自発的な学習を推進し、学校図書館の利用を促進します。			調べ学習など必要な本を学校と連携して提供		
			3	学校連携司書による企画展示		学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	131,000冊	126,875冊	97%	120,000冊
							年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)	9,650冊	8,800冊	91%	6,500冊
	4	学校図書館の読書をする環境整備		学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定を学校連携司書と司書教諭が協働で取り組み、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりをします。			蔵書点検、配置、レイアウト調整を実施				
	基本目標1「家庭・地域・学校などにおける取組の充実」の達成割合 令和6年度実績 目標達成・・・ 97%										

基本目標		重点施策		取組	新規取組	内容	指標	令和6年度 目標値	令和6年度 実績	達成率	令和7年度 目標値
2. 子ども読書活動推進支援の一層の充実	1	中央図書館のサービスの充実	1	子どもの発達段階に応じた読書環境づくり		対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気的空間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。			館内整理日や特別整理期間(蔵書点検)に点検等を実施		
			2	中高生向けの図書の充実、読書環境づくり		中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した魅力ある書棚を継続します。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	7,000冊	7,401冊	106%	7,100冊
			3	特別な支援を必要とする子どもへのサービス		点字絵本やさわる絵本などを収集し、特別な支援を必要とする子どもや保護者へ提供します。	バリアフリーの図書(児童)の提供(累計)	180冊	201冊	112%	200冊
	2	普及活動の充実	1	読書手帳の普及		読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	560枚	326枚	58%	300枚
			2	各施設で読み聞かせイベントなどの実施		読書の大切さを広めるよう「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	2,000人	1,717人	86%	1,700人
			3	保護者への周知		中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。			図書館ホームページや「児童館だより」で紹介		
	3	各種情報の収集・提供	1	図書情報などの収集・提供		子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。			5種提供		
			2	館内におすすめ本紹介文(POP)掲示	○	おすすめ本の紹介文(POP)を掲示し、子どもの読書のきっかけづくりをします。			中学2年生職場体験で手作りPOPを作成し展示 長久手高校連携事業POPの本27点と高校生に人気のある本合わせて85冊展示		
			3	図書ボランティアなどの活動を紹介		ホームページなどで図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティア団体の活動紹介数	9団体	10団体	111%	10団体
			4	ホームページを通じた情報発信		ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。			・おはなし会やぬいぐるみお泊まり会などのイベント情報を市と図書館のホームページに掲載。 ・年齢別絵本リストやテーマ展示リストを図書館ホームページに掲載		
	基本目標2「子ども読書活動推進支援の一層の充実」の達成割合 令和6年度実績 目標達成・・・ 89%										
	令和6年度子ども読書活動推進計画 達成度合計 令和6年度実績 目標達成・・・ 93%										

令和 7 年度事業概要

1 事業実施のための計画の位置づけ

(1) 第 6 次総合計画

基本目標 2 子どもが元気に育つまち

政策 3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

・子ども読書活動推進事業

・読み聞かせボランティア活動推進事業

基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

政策 1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(1) 歴史の次世代への継承

・地域資料収集事業

(2) 教育振興基本計画

基本目標 V 生涯を通じた学びの機会提供と支援の充実

基本施策(8) 子どもの読書活動の推進

基本施策(9) 魅力ある図書館づくり

(3) 子ども読書活動推進計画（第 3 次）

基本目標 I 家庭・地域・学校などにおける取組の充実

基本目標 II 子ども読書活動推進支援の一層の充実

2 事業概要

(1) 会議

ア 図書館運営協議会 年 2 回（5 月、3 月予定）

イ 学校司書職員連携会議 年 1 回（7 月）

(2) 図書業務

ア 図書資料、地域資料、逐次刊行物、視聴覚資料等の収集、整理、保存、貸出

イ 蔵書管理

図書の選書、発注、受入、蔵書データの整備など

ウ 利用者サービス

児童・中高生・障がい者向けサービス、レファレンス（資料照会応談）、本の予約・リクエストなど

エ 団体貸出

小中学校、放課後子ども教室、児童クラブ、Nーハウス、地域共生ステーション、児童館、保育園、幼稚園などへの貸出

オ 館内企画展示

自館企画、他課とのコラボレーション企画による特設コーナー

(3) 資料収集計画

ア 図 書 約 7,200 冊を収集予定

参考：令和 6 年度図書購入予算 1,700 万円（視聴覚資料費を含む）

(ア) 中央図書館蔵書用

一般書	4,600 冊
児童書	2,150 冊
参考図書	80 冊
郷土資料	40 冊
紙芝居	30 組
中高生向図書	100 冊
計	7,000 冊

(イ) 学校連携及び児童館連携用

団体連携本（主に児童書） 200 冊

イ 視聴覚資料

D V D	5 点
C D	5 点
計	10 点

ウ 雑 誌 107 誌

※平成 25 年度から雑誌スポンサー制度を導入

令和 7 年 2 月現在 12 事業者、21 誌

エ 新 聞 12 紙

(4) 子ども読書活動推進計画

第 3 次長久手市子ども読書活動推進計画

（対象年度：令和 5 年度から令和 9 年度まで）

【主要な取組】

- ア ブックスタート事業
- イ 中央図書館の読書環境づくり
- ウ 児童館連携事業
- エ 学校連携事業
- オ 保育園・幼稚園の読書環境づくり

(5) 行事

ア おはなし会（図書ボランティア等による）	年 80 回程度
イ 企画イベント	年数回
ウ 講座	年 1 回

(6) 図書ボランティアとの連携

- ア 絵本などの読み聞かせ
- イ 図書資料の修理
- ウ 図書資料の返本、書架整理

(7) 見学・職場体験・実習生

※相手方との調整の上、実施

- | | |
|----------------|------------|
| ア 小学校図書館見学 | 各校年1回（3年生） |
| イ 中学生の職場体験 | 各校年1回（2年生） |
| ウ 大学生司書課程図書館実習 | 年1回 |
| エ 教職員研修 | 不定期 |

(8) 広報

- ア 利用案内、図書館カレンダー等の作成、配布
- イ 新刊リストの発行、ホームページへの掲載
- ウ 小学生向け（学年別）・幼児向け推薦書リストの更新
- エ 市及び図書館ホームページへの掲載
- オ 市広報紙への掲載

(9) 一部業務委託

令和6年4月から実施

- ア 窓口等運営業務
- イ 施設等維持管理業務

(10) 図書館システム更新

館内利用者用端末、業務用端末、自動貸出機・返却機、及び附属機器の更新
（出入口ゲートは除外）

10月に実施予定。蔵書点検を同時期に実施し、例年蔵書点検を実施している
1～2月は通常開館とする。

(11) その他

学級文庫組替え（学校連携事業） 3月

ストーリーテリングをたのしもう！

資料 4

小・学生
むけ

夏の

7/18 (金)
14:00~14:30

ちょっぴり

こわ~いおはなし会

暑い夏の日、こわいおはなしで
涼みませんか？

ゆきおんな

ほか

中央図書館 2階AVルーム
申し込みはいりません！！

お問い合わせ先

長久手市中央図書館

☎ 0561-63-8006



HPでも
イベントの
お知らせを
ご覧いただけます



<https://library.city.nagakute.lg.jp/>

夏休みは
じどうかん
児童館に
ゴー ゴー
GO! GO!

夏休み ブックトークの会

かく
各学校図書館で活動している司書が、今年の夏休みは
じどうかん
児童館におじゃましてブックトーク（本のしょうかい）をします。



西児童館

7月30日(水) 10:00-

上郷児童館

8月 1日(金) 13:30-

北児童館

7月30日(水) 13:30-

市が洞児童館

8月 5日(火) 10:00-

青少年児童
センター

8月 1日(金) 10:00-

南児童館

8月 5日(火) 13:30-



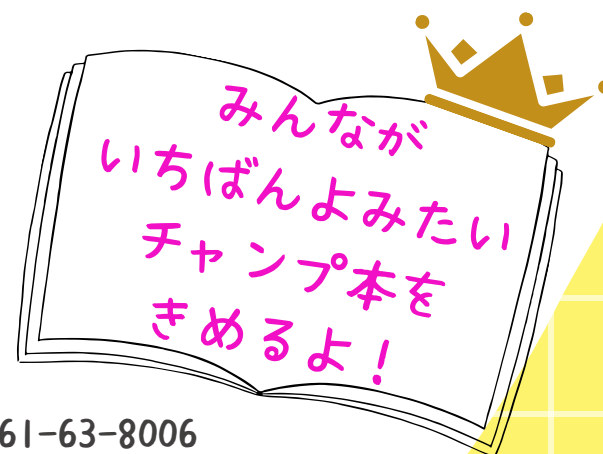
※ 30分くらいお話しします
もうしこみはいりません!

対象

小学生

お問い合わせ

長久手市中央図書館 TEL 0561-63-8006



より魅力的な、

文化の家・中央図書館・松ヶ根公園 エリアについて考えてみませんか？

都市計画マスタープランにおいて、「文化交流拠点」として位置づけられる、文化の家、中央図書館、松ヶ根公園エリアを、一体的で、より魅力的なエリアとするためにワークショップを開催します。



◆開催場所

中央図書館2階 AVルーム

◆開催日時

★全3回 各回90分程度★

第1回 令和7年7月12日（土） 午後1時30分から

第2回 令和7年7月21日（月・祝） 午前10時から

第3回 令和7年8月2日（土） 午前10時から

◆オブザーバー

○肩書

日本福祉大学 国際学部 国際学科 教授

○紹介

専門は、参加型まちづくり、まちづくりファシリテーション、地域マネジメント、福祉社会開発、国際開発。東京工業大学工学部社会工学科卒業・同大学院博士後期課程修了、博士（工学）。国際連合地域開発センター（UNCRD）研究員を経て、2006年4月より日本福祉大学へ、2013年より現職。共生社会を見据えて、対話や交流の「場」と「縁」のデザインとマネジメントを通じたコミュニティづくり、プレイスメイキングやエリアマネジメント等を通じた創発的まちづくりや地域マネジメントに関心を持つ。長久手市、東海市、知多市、安城市、名古屋市他で、動きを作っていく実践的な取り組みや研究活動を行う。最近は、「地域福祉」と「地域づくり」を架橋するプロジェクトにも関わる。



吉村 輝彦氏

◆対象・定員

どなたでも 各回約20名

◆申込方法・問い合わせ先

QRコードより参加申し込みをお願いします。

長久手市役所 都市計画課（担当：日比野） TEL：0561-56-0622



申込



市HP

学校連携司書の取り組み結果 R6年度

長 中

1年オリエンテーション資料協力（実施は国語科教諭）

年6回 新刊本コーナー展示を実施

支援学級が図書室利用時、読み聞かせ・ストーリーテリングを実施

南 中

日頃からYA向け図書のチェックを行い、読みたいと思わせる選書を心掛けた

新刊が入るたびに「新刊本紹介」を写真入りで作成し、掲示した

学級へ図書室の本を貸出、学期ごとに入れ替えをした

北 中

おすすめ本コーナーをこまめに変更し、多くの本が生徒の目に入るように心掛けた

季節のイベントを実施し、普段図書室に来ない生徒への来室を促した

棚見出しを作り直し、利用者のアクセスが良くなった

西 小

- R6年度 図書室改修工事が行われた。司書教諭と相談・協力し、引っ越し準備を行った
- 長期閉館となり、先に各学年の要望を伺い、使いやすいよう図書を準備した
- 改装後、教科書に合わせ9類の図書を著者順に並べ替えを行った
- 書架のサインを更新・館内の装飾も行い、明るい雰囲気になった
- 1年図書室利用時に「チャレンジ読書」を実践。司書選書の良書に多く触れることで、読む力の向上を図った
- 1年図書室利用時に「昔話クイズ」を行い、昔話に親しむきっかけづくりを行った
- 6年卒業時、貸出カードに手作りのメッセージカードをプレゼントして喜ばれた



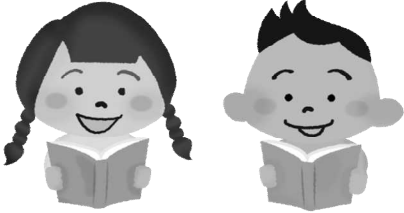
改装前



改装後

※チャレンジ読書：100冊の課題本を用意して、読書をする。

※昔話クイズ：昔話を読むと答えがわかるクイズを1冊ずつに設定している。

長 小	市 小
授業支援の一例： 4年「伝統工芸のみりよくを伝えよう」 実物を見せ、現代にも使える伝統工芸の工夫を紹介	掲示物を季節ごとに変えた
2年授業利用時に幼年童話を10冊読破する取り組みを実施	月刊誌の特集に合わせ、テーマ展示を展開 （「むかしのお金」「アンモナイト」など）
冬休み貸出時に本の福袋を作成 （図書委員選書協力）	高学年にも読み聞かせを実施
卒業祝ストーリーテリングお話を実施	各学年「課題図書」「教科書関連本」の紹介を実施
南 小	東 小
定期購読している図書館新聞の特集に合わせて、 関連本を廊下に展示	1～6年の調べ学習の資料準備を行った 特に、3年の長久手市について学ぶ単元では郷土資料 の準備に力を入れた（ザイおどりなどお祭りの資料）
低学年図書室には「じっけんラボ」を設置 飼育や観察の本を置き、調べものを支援	
1～3年は「チャレンジ読書」を実施 （年間80～100冊を読破目標） 司書が選書し、活動をサポートした	授業の進度を伺い、関連資料を該当学年の廊下へ展示
6年国語で学習するブックトークの実演	司書のおすすめコメントを本につけ、校内数か所に 展示
北 小	全体での取り組み
季節感のある掲示やイベントを実施 （おみくじ・季節の折り紙や切り紙の飾り）	今年度、学校連携司書主導で初めて蔵書点検を実施、 資料の現状把握に努めた
1・2年オリエンテーションで電子黒板を使用 わかりやすい資料を作成	教科書に合わせ、文学の棚を著者順に並べ替えた
2年「ふたりはともだち」掲載の単元で、 パネルシアターを実演	「読書感想文課題本」「読書感想画課題本」 「教科書掲載本・関連本」の紹介・提案を行った
教科書掲載本の紹介や読み聞かせを実施	学校間で資料の貸借を行い、有効に活用した
	各小学校へ中央館より学級文庫を貸出、 修理・クリーニングなどメンテナンスも行った
	図書室担当先生と協力し、図書委員会の活動を サポート

事業総点検の中間報告

問 企画政策課 ☎ 56-0600

本市では、限られた財源の中で将来にわたって持続可能な市政をめざし、事業総点検を行っています。これまで良好な住環境づくりや緑の保全、コミュニティの充実などに力を入れ、健全な財政運営を続けてきましたが、物価高騰や扶助費・修繕費の増加、ふるさと納税による税収減少などにより、財政は大きな転換期を迎えています。そこで今後のまちの将来を見据え、各事業の見直しを行っています。

事業総点検の目的

- 既存事業が今の社会情勢や市民ニーズに合っているかの検証
- 健全な財政運営を行うための財源確保
- 新たな事業に取り組むための創造的な時間の確保

2026年度に向けたおもな検討状況

第6次総合計画の基本目標に沿って、「市長公約」「必要性」「有効性」「効率性」「公平性」「歳入確保」の6つの視点で点検を行っています。特定の分野に偏ることなく、すべての分野を対象とし、全338事業を対象にそれぞれの分野に応じた見直しを行いました。

基本目標

見直しの一例

基本目標1 人づくり

「やってみたい」で
つながるまち

「スマイルポイント事業」について、事業開始当初の目的をおおむね達成したことから廃止を検討します。

基本目標2 子ども

子どもが元気に育つまち

「高等学校等入学支援金」について、高校生を対象とした国の授業料支援制度の拡充に伴い廃止を検討します。

基本目標3 自然環境

みんなで未来へつなぐ
緑はまちの宝物

「住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金」について、受益者負担の観点から内容の見直しを行います。

基本目標4 生活

誰もがいきいきと
安心して暮らせるまち

「高齢者外出促進事業」について、今後の高齢者人口の増加による財政負担を考えると事業継続が難しいため廃止を検討します。

基本目標5 交流

いつでもどこでも誰とでも
広がる交流の輪

「文化の家管理事業」について、施設管理の内容を見直すことで委託費の削減を図ります。

基本目標6 都市経営

あえて歩いてみたくなる
まち

街路樹や緑道の維持管理水準を見直すことで委託費の削減を図ります。

基本目標7 市政運営

市民から信頼される
市政の運営

「庁舎清掃業務の委託内容」や「職員駐車場の使用料」および「ケーブルテレビの番組構成」の見直しを行います。

事業総点検は2026年度の予算編成に向け、さらなる検討を進めていきます。
今後も広報や市HPで進捗状況を公表しながら進めていきます。

詳細は市HPへ。



公演・ワークショップ

8月23日(土) 14:30～

音楽付きおはなし会
走れメロス

料金：無料（要申込）

対象：小学5年生以上推奨（大人のみも可）

出演：文化の家創造スタッフ（屑屋 あず、伊藤 天音、内田 一晟）

朗読に即興演奏をつけた人気シリーズ。
あの名シーンを臨場感あふれる音楽
とともに体感してください。



8月26日(火) ①10:00～ ②14:00～

製本ワークショップ
糸綴じの自由帳を作ろう

料金：1,000 円（当日支払い、要申込、各回定員 6 名）

対象：小学5年生～大人

講師：中川 京子（製本作家）

2時間ほどかけて、一からの本格的
な製本を体験できます。作った自由
帳はお持ち帰りいただけます。



※写真はイメージです。実物とは異なります。

8月28日(木) 10:00～

小学5年生～中学生限定
はじめての小説を書いてみよう

料金：無料（要申込、定員 12 名）

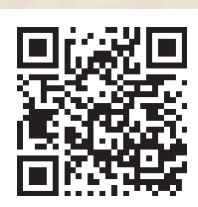
対象：小学5年生～中学生

講師：高木 暲吾（文化の家創造スタッフ）

人生ではじめての創作体験。一つの
物語を作って、頭の中にある世界を
言葉にしてみよう。



すべてのイベントは中央図書館 AV ルームで実施します。
事前の申込が必要なイベントは 7 月 1 日 (火) から、QR コード
先のフォームにてお申し込みください。
※窓口・お電話での申込みは受け付けておりません。
※空きがある場合のみ、当日会場での参加も受付いたします。



ひらめきの図書館 ～本とアートが出会ったら～

2025 年 8 月 16 日(土)～31 日(日)

9 時～17 時 ※月曜休館

長久手市中央図書館 2 階ギャラリー

本とアートが会うとき、そこには新しい「ひらめき」が生まれます。
中央図書館と文化の家が共同で送る初のプロジェクト。2 週間にわたって、
図書館とアートが融合した特別な体験をお届けします。

新たな本と出会う常設展のほか、製本ワークショップや、はじめての
小説を書いてみる体験会など、多数のイベントを開催。

本からはじまる創作活動を通じて、新しい発見をしてみませんか？
この夏、長久手に「ひらめき」があふれます。

常設展

アーティストの本棚
みんなの一箱本棚

長久手×アートの棚
ひらめきの棚

お問合せ 長久手市文化の家 0561-61-3411 長久手市中央図書館 0561-63-8006

主催 長久手市、長久手市教育委員会

イベント

※各イベントの開催場所と申込方法は表面の裏をご覧ください。

7月26日(土) 13:00～

私だけの一箱本棚をつくろう！

料金：無料（要申込、定員 12 名）

対象：どなたでも。グループで 1 つでも OK（代表者のみお申込みください）

図書館の本から好きな本を選んで、自分だけの一箱本棚を作ります。作った本棚は会期中に展示します。 ※棚はこちらで用意します。

講演会

8月17日(日) 13:00～

吉成信夫×土肥潤也 対談イベント

にぎわいが生まれるコミュニティづくり ～これからの文化拠点の可能性～

料金：無料（要申込） 対象：まちづくり、図書館、文化施設などに興味のある人

「ぎふメディアコスモス」元総合プロデューサーの吉成信夫さんと、「みんなの図書館さんかく」で全国的に有名になった土肥潤也さんによる夢の対談。コミュニティづくりの最前線にいるお二人のお話をもとに、日本一若いまち長久手らしい、にぎわいとひらめきであふれる文化拠点のあり方について考えます。



吉成 信夫

39歳の時、家族と岩手に移住。「石と賢治のミュージアム」研究専門員を経て、環境教育施設「森と風のがっこう」を立ち上げる。その後、岩手県立児童館いわて子どもの森の初代館長、岐阜市立図書館長等を歴任。現在は、明石市本のまちづくり推進アドバイザー、中部学院大学兼短期大学部客員教授など。本のひみつ基地（無印良品柳ヶ瀬店）を運営しながら、各地の文化的空間づくりに関わっている。著書に『賑わいを創出する図書館 開館9ヶ月半で来場者100万人を突破した「みんなの森ぎふメディアコスモス」の冒険』（KADOKAWA）など。岐阜市在住。
好きなものは、子ども、ムーミン、カフェ。



土肥 潤也

1995年、静岡県焼津市生まれ。早稲田大学院修士課程修了（社会科学）。NPO 法人わかものまち、一般社団法人トリナス、株式会社C&Y パートナーズ代表。焼津駅前通り商店街をの空き店舗を活用し、私設図書館「みんなの図書館さんかく」、私設公民館「みんなの公民館まる」を開館するなど、商店街の活性化に取り組む。一箱本棚オーナー制度を導入した市民参画の仕組み「みんなとしょ」は全国100館以上に広がり、朝日新聞天声人語、日経新聞1面、日経トレンディ、NHK などにも取り上げられる。マニフェスト大賞優秀賞、第14 回日本まちづくり大賞、Library of the Year 2023 大賞、Forbes 30 Under 30（世界を変える30 歳未満30 人）を受賞。著書に『わたしのコミュニティスペースのつくりかた』など。

8月31日(日) 14:00～

三宅香帆 トークイベント

言葉にならない好きを言葉にする

料金：無料（要申込） 対象：どなたでも

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』でベストセラー作家となった今一番話題の文芸評論家、三宅香帆さんによるトークイベントです。三宅さんの著書『「好き」を言語化する技術』にちなんで、自分の「好き」に向き合うための時間を作りました。「好き」を言葉にすることで、もしかしたら自分のことも好きになれるかもしれません。日常にある「好き」が見えるようになるヒントを探しに来てください。



三宅 香帆

文芸評論家。京都市立芸術大学非常勤講師。1994 年高知県生まれ。京都大学人間・環境学研究科博士後期課程中退。リクルート社を経て独立。主に文芸評論、社会批評などの分野で幅広く活動。著書『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』『「好き」を言語化する技術』等多数。

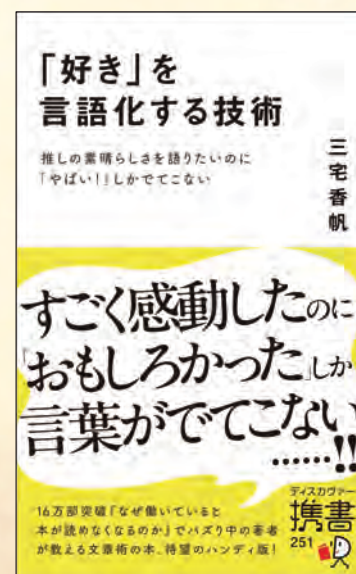
同時開催「働いていて本が読めない人のための読書会」

8月31日(日) 9時～12時（申込不要）

講演会前に、三宅さんの本を読みたい人のための時間を作ります。

最初の2 時間は各自で『「好き」を言語化する技術』を読み、最後 1 時間でその場にいる人同士で読書会を行います。本はご自身でご購入の上ご持参ください。途中参加可、すでに本を読み終わっている人のご参加も歓迎します。

※読書会とは..... 集まった人同士で本の感想などをシェアする会です。



三宅香帆『「好き」を言語化する技術』ディスカヴァー・トゥエンティワン



三宅香帆『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』集英社